

2019 年度 プログラム募集要項

GSP 研修型 (海外) : ユネスコチェア プログラム
(二次募集)

研修概要

【研修の趣旨】

ユネスコチェアプログラムは、知識の共有と協働を通じた組織の能力強化を図ることを目的に、諸外国の大学間の協力とネットワーキングを促進するプログラムです。

本研修のテーマは「文理融合型サマーコース：災害におけるジェンダーと脆弱性」です。本研修では、神戸大学のほか、ガジヤマダ大学（インドネシア）や高雄科技大学（台湾）などの学生が、ジェンダーや脆弱性の視点から災害に関する講義を受講したり、ディスカッションや実習、ワークショップへ参加したりすることを通して、さまざまな社会的・文化的背景をもつ人同士との協働やリーダーシップに求められる能力を養います。

【日程】

2019 年 8 月 18 日（日）ジョグジャカルタ到着（最短の移動で、同日日本出発）

2019 年 8 月 19 日（月）研修開始

2019 年 8 月 30 日（金）研修終了

2019 年 8 月 30 日（金）ジョグジャカルタ出発（最短の移動で、翌日日本到着）

※ 渡航期間を個人的に変更することはできません。

※ 個人都合による現地集合、滞在延長は認められません。

【渡航先】

インドネシア・ジョグジャカルタ特別州ジョグジャカルタ

【開催機関】

ガジヤマダ大学 (Universitas Gadjah Mada)

1949 年創立の国立大学 (学生数約 33,000 人)

<https://ugm.ac.id/>

【プログラム】

UNESCO Chair for Gender and Vulnerability in Disaster Risk Reduction

<https://en.unesco.org/news/new-unesco-chair-gender-and-vulnerability-disaster-risk-reduction>

【募集人数】

3 名程度

【募集対象者】

国際人間科学部、発達科学部、国際文化学部、人間発達環境学研究科、国際文化学研究科の正規生参加者決定は、先着順ではありません。

プログラムの参加決定は、所定の選考基準に基づいて、と男女共同参画推進室と GSP オフィスが行います。

※ 国際人間科学部・国際文化学部・発達科学部・国際文化学研究科・人間発達学研究科での選考後に、神戸大学男女共同参画推進室が他学部・研究科あわせて 3 名程度の学生を選抜します（一次募集とあわせて計 10 名程度）。

【滞在先】

大学寮もしくはホームステイ

※ 大学寮とホームステイのいずれになるのかは、参加者決定後に確定します。

【参加費】 概算総額 150,000 円

海外旅行保険料 約 4,910 円（付帯海学）

航空運賃 約 90,000 円（航空券手配時に購入可能な航空券の状況次第で、金額は変わります）

宿泊費等 約 50,000 円

※ 上記の費用は目安です。

※ 空港～ガジャマダ大学までの交通費、研修に伴う移動に係る交通費は、ガジャマダ大学と神戸大学男女共同参画推進室が負担します。

※ パスポート取得に係る経費、ビザ申請にかかる経費（日本国籍保持者はビザ不要）、航空券に付随する諸費用（空港施設使用料など）、出発・帰国空港までの交通費、食費（約 20,000 円）、その他個人経費などは、個人負担となります（上記の金額に含まれていません）。

※ 航空券や滞在先の手配、ガジャマダ大学との手続きは、神戸大学男女共同参画推進室が行います。プログラム参加決定後の指示に従ってください。

【申込・受付期限】

2019 年 5 月 16（木）12 時（厳守）

【応募書類・提出先】

	応募書類	提出先
1	2019年度 神戸大学ユネスコチェア サマープログラム応募願書 ※ 指導教員による捺印が必要です。	国際人間科学部 GSP オフィス(鶴甲第1キャンパス E棟1階) ※ 鶴甲第2キャンパスでは受けられません。
2	英語能力証明書(写し) ※ 英語能力証明書がない場合には、2018年度の学業成績表の提出をもってそれに代えることが可能です。但し、参加決定後速やかに TOEFL 等を受験し、証明書を提出してください。 ※ 2018年度の学業成績書について、新入学生は、出身高校や大学の成績証明書を提出してください(申込締切に間に合わない場合には、証明書を取得後速やかに提出してください)。	
3	平成30年度の学業成績表(うりぼーネットでPDF出力) ※ うりぼーネット利用マニュアル参照 http://www.office.kobe-u.ac.jp/stdnt-kymysys/student/image/pdf/2014stu/2014_08.pdf	

※ 同時期に募集している GSP 研修型(海外)のほかの個別プログラムへも応募している場合には、応募願書へ、①応募しているほかの個別プログラム名、②本プログラム(神戸大学ユネスコチェア サマープログラム)の希望順位を記載すること。

【渡航前ビザ取得の有無】

日本国籍の場合、無し

日本国籍以外の場合、別途各自で確認すること。

【選考について】

参加者決定は、先着順ではありません。

選考結果は、2019年6月初旬までに、男女共同参画推進室から各応募者に通知します。

【参加決定後手続きについて】

有意義で実りある研修にするために、下記の予定で「GSP 演習（オリエンテーション2）」が行われます。参加者は、すべての回に出席すること（国際人間科学部生の場合、必修科目の一部となります）。

6月初旬

参加者決定

6月14日（金1限）

「渡航前ガイダンス（海外渡航に関する説明会）」、教室：B202（鶴甲第二キャンパス）

※ 誓約書を提出すること（所定様式有り、参加決定者へ後日連絡します）

7月12日（金1限）

「危機管理オリエンテーション」、教室：B109（鶴甲第一キャンパス）

※ 上記日程の都合をどうしても付けられない場合には、ほかの日程から選択することが可能（複数回開催されるうちの1回へ必ず参加すること）

7月19日（金1限）

「GSP 演習（オリエンテーション2）」、教室：B212（鶴甲第二キャンパス）

7月26日（金1限）

「GSP 演習（オリエンテーション2）」、教室：B212（鶴甲第二キャンパス）

出発日の2週間前までに

海外渡航届の提出

※ 「GSP 演習（オリエンテーション2）」は毎回出席することが必要です。ただし、やむを得ない理由で欠席する場合は必ず事前に GSP オフィスに申し出ること。

※ 「GS コース」として参加する国際人間科学部生は、別途「学びの設計図（研修型 GS コース：海外研修）」と「振り返りシート（研修型 GS コース：海外研修）」の提出が必須です（詳しくは、「GSP 演習（オリエンテーション2）」で説明します）。

※ 上記のほか、神戸大学男女共同参画推進室主催の事前・事後学習へも参加し、事前学修レポートの提出や事後報告会への出席を求めます。詳しくは、プログラム参加決定後の指示に従ってください。

【留学生危機管理制度（OSSMA）・危機管理オリエンテーション】

大学規定により、留学生危機管理制度（OSSMA）への加入、及び「危機管理オリエンテーション」への参加が義務付けられています。

※ 「危機管理オリエンテーション」を欠席した場合、海外研修に参加することができません。ただし、教育実習、介護実習などのやむを得ない事由がある場合は、必ず事前に GSP オフィスに連絡すること。

【海外旅行保険（学研災付帯海外留学保険）】

本学の海外プログラムで海外渡航する学生は、「学研災付帯海外留学保険」（付帯海学）へ加入すること。

<http://tnpopta.sakura.ne.jp/newpage15.html>

※ 付帯海学への加入には、「学生教育研究災害傷害保険」（学研災：入学時に全員が加入することになっています）への加入が必要です。

※ 参加者には、加入手続きについて別途連絡します。

※ 必ず付帯海学に加入し、被保険者（加入者）証番号を「海外渡航届」と OSSMA LOCATOR に記入すること。

【取消料の取扱】

やむを得ず参加取消をすることになった場合、航空券に関する取消の連絡を旅行社に行う日付（神戸大学が連絡を受ける日程ではありません）によっては、取消料が発生します。

航空券に関する取消料は航空券の種類により異なります。

【教員の引率】

神戸大学教員の引率を予定しています。

【奨学金】

日本学生支援機構（JASSO）の給付奨学金の対象プログラムです。

家計基準と GPA などの受給対象者の条件があります。また、応募者多数の場合には、別途選考を行う場合があります。

詳しくは、参加決定者へ後日連絡します。

【本研修参加によって修得できる単位】

国際人間科学部

必修科目「GS コース」の一部となります。

※ キャップ制には含まれません

※ 研修参加時に神戸大学在学中であること。

発達科学部、人間発達環境学研究科

海外実習単位の申請が可能です。

それぞれの所属学部・研究科の学生便覧学部規則等の「(海外) 外国語実習の単位認定に関する内規」を参照してください。

※ 研修参加時に神戸大学在学中であること。

国際文化学部、国際文化学研究科

単位付与なし（応募・参加は可能）

※ 研修参加時に神戸大学在学中であること。

【参加申し込みにあたっての留意点】

1. 参加申し込みにあたっては、保護者もしくはご家族と十分に話し合った上で申し込むこと。また、神戸大学の授業・試験・行事・部活動のスケジュールなども十分に確認すること。
2. 神戸大学の学生として恥ずかしくない行動をとることができる学生の参加を期待します。書類提出の期限、オリエンテーションへの出席、団体行動に対する意識など、規律ある行動をとるように心がけること。このようなことが遵守されない場合は、参加を取り消すことがあります。
3. 本研修の参加者に決定した学生で、パスポートを未取得の場合、ただちに申請手続きに取り掛かること。
4. プログラム参加決定後、外務省「たびレジ」に登録すること。<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>
5. 電子メールは、申し込み後の様々な連絡に必要となるほか、研修中にも重要な連絡手段となります。大学からの連絡は、学籍番号メールで行います。海外でもアクセス可能で、国内でも頻繁に使用するメールアドレス（Web ブラウザで確認できるメールを推奨）を取得し、学籍番号メールの転送を各自で設定すること。
6. 研修期間の重なる、学内の他の海外研修と重複して応募することは、原則できません（同一の一括募集枠を除く）。
7. 参加決定後に参加を取り消すことは、原則できません。
8. 8月14日から16日は、神戸大学夏季一斉休業です。書類提出の際は、日程に注意すること。
9. 本研修は、神戸大学男女共同参画推進室と海外大学、ユネスコが共同で実施するものです。

【本プログラムに関する問い合わせ先】

国際人間科学部 GSP オフィス / 鶴甲第1キャンパス E 棟 1 階（国際人間科学部教務学生係隣）

E-mail: gsp-info@fgh.kobe-u.ac.jp / Tel: 078-803-7601